



# 下総中世城郭の歴史と謎

主催：手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

日本に4万～5万あったという城館の多くを占める戦国時代の城郭には、勢力の境界での防衛や監視など軍事目的で築かれ、城主などが居住しないものも数多くみられました。いつ誰が築いたかなど、詳しいことが不明な城跡も多いです。下総においても、本佐倉城をはじめとした戦国城郭がありましたが、開発などで消えて行ったものを含め、築城時期や来歴について記載された古文書がないものが大多数とっていいでしょう。その城について記載した文献はなくても、遺構は雄弁に物語ってくれます。

今回、城跡の見方を述べた上で、本佐倉城、生実城、臼井城、小金城、松ヶ崎城、根戸城など下総の中世城郭の具体例をあげ、城郭とそれを取り巻く歴史に迫ります。



左…本佐倉城跡（奥山）  
右…松ヶ崎城跡



日時 2015年12月20日（日）13時開場、13時半～15時半



場所 柏中央公民館・集会室  
柏市柏5丁目8番12号（教育福祉会館内）～柏駅東口より徒歩10分



講師 当会より



参加費 会員：100円、一般：300円（資料代込み）



その他 申込不要。公民館に隣接して駐車場はありますが、有料です。



問い合わせ メール：[info@matsugasakijo.net](mailto:info@matsugasakijo.net) または Tel. 090-3579-5185（森）  
（平日のお問合せは午後6時以降にお願いいたします）